

ライトリフター

SFL10

SFL20

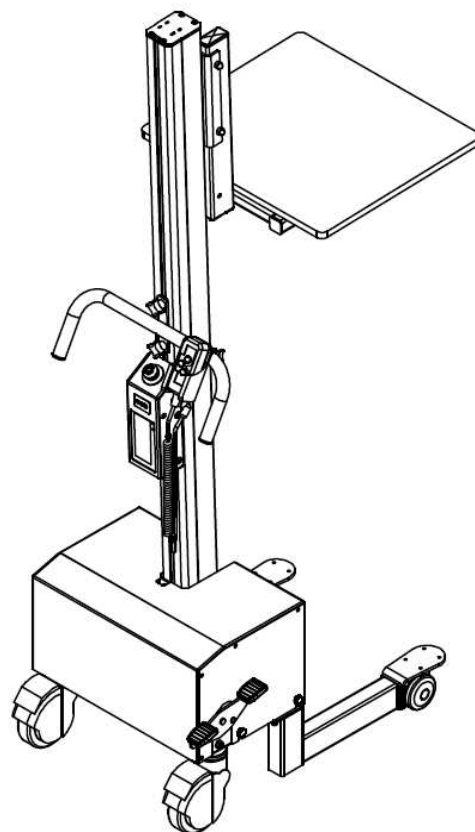
SFL10S

SFL10H

SFL20H

目次

まえがき.....	1
1. 安全上の注意.....	1
2. 使用上の注意.....	1
3. 各部の名称.....	2
4. 標準本体仕様諸元.....	3
5. 始業点検.....	4
6. 操作方法.....	4
7. 改造について.....	7
8. バッテリーについて.....	10
9. 定期点検.....	11
10. エラー内容説明.....	11
11 故障と対策.....	13
12. 廃棄.....	13
13. 商品保証規定.....	13
14. アフターサービスについて.....	14



まえがき

このたびは、ピシャモンのアルミ製バッテリー式リフト ライトリフターをお買い上げいただきまして有り難うございます。この取扱説明書は大切に保管していただき、万一紛失された場合にはすみやかに販売会社にご請求ください。また、製品に貼りつけてある警告ラベル等が剥がれた場合にも販売会社にご請求ください。


1. 安全上の注意

ライトリフターをご使用する前に、この「安全上の注意」を良くお読みのうえ正しくお使いください。※お読みになった後は、いつでも見られる場所に必ず保管してください。

■用語および記号の説明■

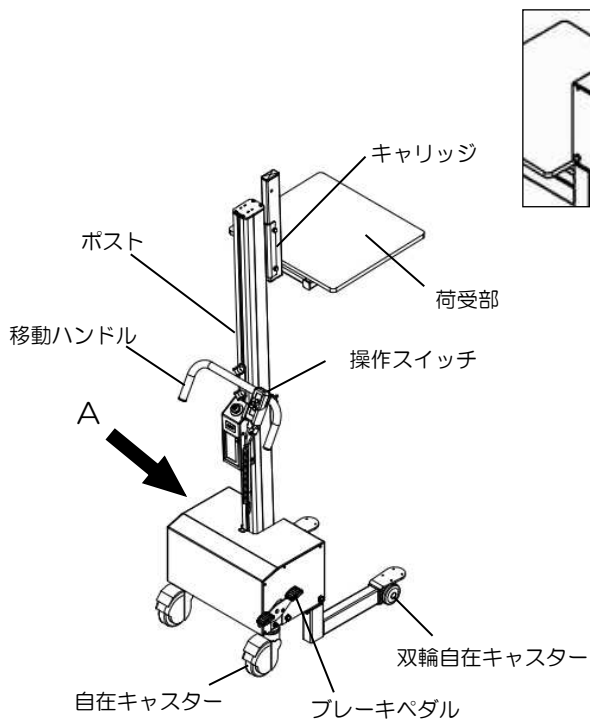
- ⚠ **警告** 取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。
- ⚠ **注意** 取り扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険および物的損傷の発生が想定されます。

2. 使用上の注意

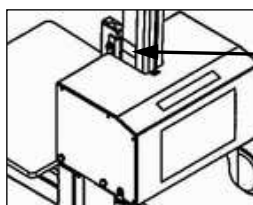
⚠ 警告				⚠ 注意
下記の注意事項に違反すると重大な人身事故につながりますので必ず守ってください。				
				<ol style="list-style-type: none"> 1. 取扱説明書をよく読んで理解してからご使用ください。誤った操作は事故につながります。 2. 本機は定格荷重以下の荷物を荷受部によって上昇下降させる移動式のリフターです。本来の目的以外には使用しないでください。 3. 本機の使用は使用方法を熟知した人に限定してください。 4. 常に荷物の状態には注目し、もし荷物が不安定な状態になった時には操作をやめて荷物を整えてください。荷崩れの危険があります。 5. 荷受部の上に荷物を移動する時にはブレーキをかけて本機を固定してください。荷物の移動中に本機が不意に移動して、荷物が転落する危険があります。 6. 荷受部の上に偏った荷重をかけることはやめてください。本機の破損や荷崩れにつながります。 7. 荷受部の下に障害物がある状態で下降させないでください。本機の破損につながります。 8. 安定性が悪かったり、しっかりと積載されていない荷物には使用しないでください。 9. 取扱説明書に従って点検を必ず実施してください。 10. 本機を許可なく改造しないでください。 11. 移動時にフレームと床の隙間や車輪に足を挟まれないように充分距離をとってください。 12. 修理や点検を行う時には荷受部から荷物を降ろしてから行ってください。修理や点検の作業中に怪我の危険があります。 13. バッテリー、基板などの電気部品の交換を行う場合にはバッテリーのプラグを外してから作業を行ってください。 14. バッテリー残量表示を確認して、定期的にバッテリー充電を行ってください。 15. 本機は耐水仕様になっておりません。乾燥した所でご使用ください。
傾斜地ではリフターを使用しないでください。転倒や暴走につながります。	走行時ホイールから足を離してください。ひかれて怪我をすることがあります。	荷受部に過積載しないでください。本体の破損や荷崩れにつながります。	人を乗せないでください。人の転落やリフトの転倒につながります。	
				
荷物を高い位置にしたまま移動や旋回をしないでください。転倒や荷崩れにつながります。	リフターを移動する時には前後に人がいないことを確認してください。	充電時は火気厳禁。バッテリーの取扱いは取扱説明書をよく読んで行ってください。	リフト操作を行いながら走行を行わないでください。荷崩れにつながります。	
				
荷受部の下に入らないでください。	荷受部の先端では能力は低下します。先端だけに荷重をかけたりしないでください。	段差のある場所では注意して移動してください。転落や転倒の危険があります。	配線のつなぎ方を変えないでください。バッテリーや配線が発火する危険があります。	

3. 各部の名称

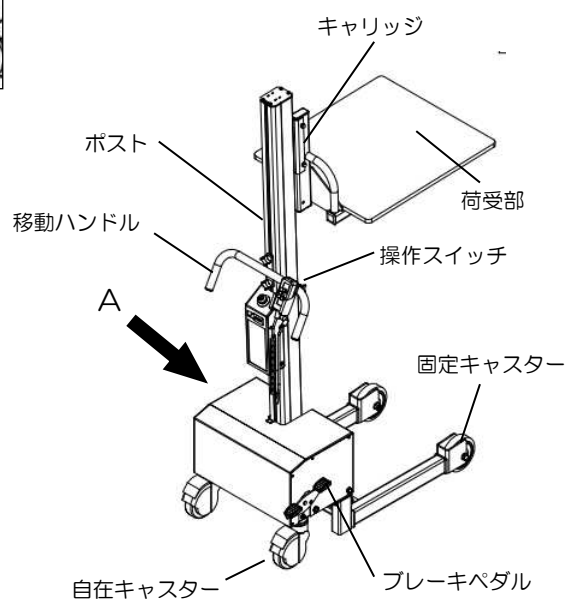
※改造の場合は別紙仕様図をご参照ください。



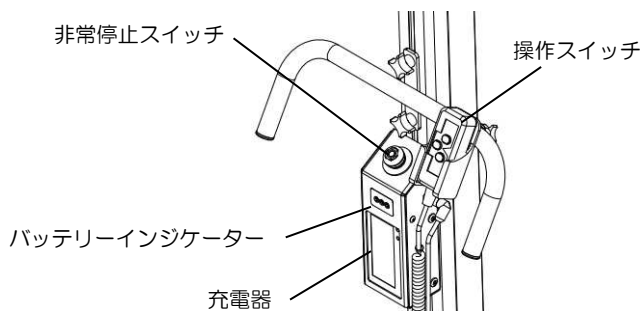
SFL10、SFL10S、SFL10H



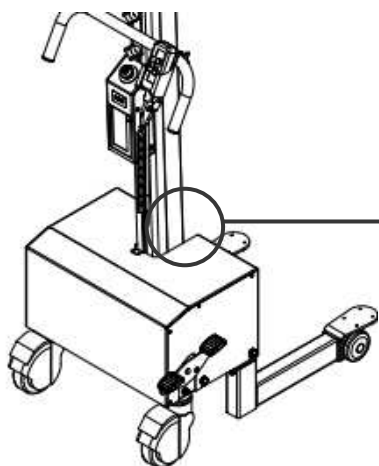
ネームプレート
型式・能力・製造番号を記載



SFL20、SFL20H



操作ユニット説明



【下限ストッパー（リミットスイッチ）について】



下限ストッパー

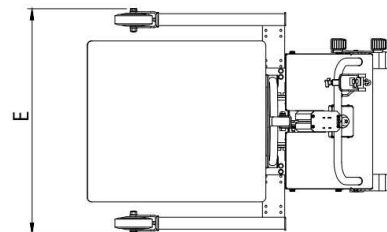
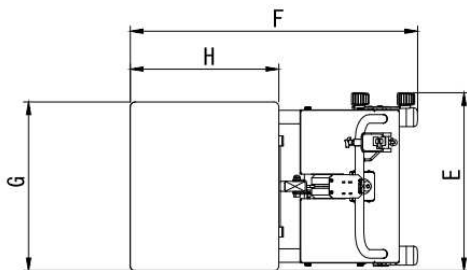
下限ストッパー（リミットスイッチ）は、テーブル下降時の下限位置を決める装置です。
下限位置がずれるとエラーが発生し、動作できなくなりますので、下限ストッパー（リミットスイッチ）には触らないようにしてください。
※「エラー-6」（P12 参照）

下限ストッパー（リミットスイッチ）

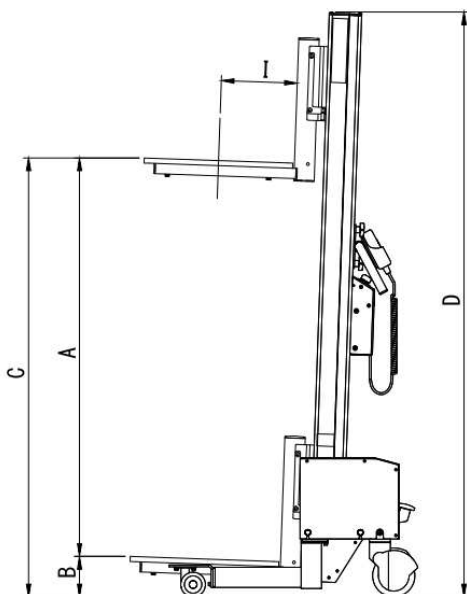
4. 標準本体仕様諸元

※改造の場合は別紙仕様図をご参照ください。

型式		SFL10	SFL10S	SFL10H	SFL20	SFL20H
	能力	100			200	
A	揚程	1180	850	1530	1150	1500
B	テーブル最低位	(高) 280 (低) 120		(高) 280 (低) 120	(高) 310 (低) 150	(高) 310 (低) 150
C	テーブル最高位	(高) 1460 (低) 1300	(高) 1010 (低) 850	(高) 1810 (低) 1650	(高) 1460 (低) 1300	(高) 1810 (低) 1650
D	全高	1732	1283	2082	1732	2082
E	全幅	528			548、686、756 (3段階)	
F	全長	851			1015	
G	テーブル幅	500			540	
H	テーブル長さ	440			600	
I	荷重中心	220			300	
J	前輪	双輪自在ウレタンφ73			固定ウレタンφ125	
K	後輪	自在ウレタンφ125				
	バッテリー	DC24V 9Ah			DC24V 22Ah	
	上昇時間	約秒 (高速) 19 (低速) 36	(高速) 12 (低速) 23	(高速) 25 (低速) 48	(高速) 19 (低速) 36	(高速) 25 (低速) 48
	下降時間	約秒 (高速) 19 (低速) 36	(高速) 12 (低速) 23	(高速) 25 (低速) 48	(高速) 19 (低速) 36	(高速) 25 (低速) 48
	昇降可能回数 (標準負荷時)	約回 180	290	140	270	200
	自重	約kg 56	54	58	92	94



SFL20、SFL20H
アーム幅拡大時



5. 始業点検

点検は本機を安全にご使用いただくため、また不具合箇所を早期に発見するために大きな役割を果たします。作業を始める前に下記の事項を点検してください。

⚠ 注意

異常と思われる箇所が発見された場合は異常箇所の修復を完全に行うまでリフトの使用を中止してください。そのままお使いになるとリフトの損傷および事故につながる危険性があります。

1. ポストに傷、曲り、亀裂などは無いか。
2. キャリッジやテーブルに傷、曲り、亀裂などは無いか。
3. 前後輪の動きは良好か。
4. ブレーキの効きは良好か。
5. ボルト・ナット類はしっかり締め付けられているか。
6. 上昇ボタンを押すとテーブルが上昇するか。
7. 下降ボタンを押すとテーブルが下降するか。
8. 非常停止スイッチを押すと動作が停止するか。
9. バッテリーインジケータのLEDは点灯しているか。
10. バッテリーの端子はゆるんでないか。

6. 操作方法

6-1 昇降操作

【高速上昇】

上昇ボタンを押してください。

(ボタンを押している間だけ上昇します。ボタンを離せば停止します)

【高速下降】

下降ボタンを押してください。

(ボタンを押している間だけ下降します。ボタンを離せば停止します)

【低速上昇】

上昇ボタンとAボタンを同時に押してください。

(ボタンを押している間だけ上昇します。ボタンを離せば停止します)

【低速下降】

下降ボタンとAボタンを同時に押してください。

(ボタンを押している間だけ下降します。ボタンを離せば停止します)



⚠ 注意

- * 能力以上の荷物を上げないでください。また能力以内の荷物でも重心がテーブル先端部にある場合は能力が十分に出ないばかりか本体を破損するおそれがあります。
- * 昇降動作中にバッテリーの端子を外すなどの電源供給を停止させないでください。本体を破損するおそれがあります。
- * 充電中に昇降操作をしないでください。不慮の事故が発生し、本体に不具合が生じる可能性があります。
- * 棚などに荷物を降ろす際、荷受部の下面が棚板に強く接触して本体が傾くと転倒防止の停止を起こす可能性がありますので、注意して下降操作してください。エラー停止した場合は一旦上昇させて、本体の傾きをなくした状態で上昇させることで自動復帰します。

6-2 非常停止操作

非常停止スイッチを押すと非常停止します。

解除する場合は非常停止スイッチを時計回りに回す、もしくは引っ張ると解除します。

非常停止作動時はバッテリーインジケータのLEDが3色同時点滅（3回）→バッテリー状態表示（1回）の順で繰り返し表示します。

6-3 移動

移動ハンドルを持ってゆっくりと移動させてください。



警告

- * 荷物を高い位置にしたまま移動や旋回をしないでください。
- * 移動中に昇降操作は行わないでください。

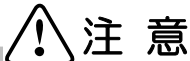
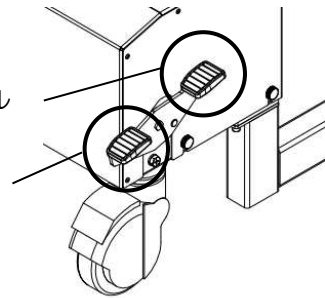
6-4 車輪ストッパー

本機が移動しないように右側の自在車輪の横ストッパーがあります。
（左右の車輪共にロックがかかる構造となっています）

- ①車輪をロックする
ペダルを踏んでください。
- ②ロックを解除する
ロック解除ペダルを踏んでください。

②ロック解除ペダル

①ペダル



注意

移動時以外は必ずブレーキをかけてください。
不意に移動して事故につながる可能性があります。

6-5 オートパワーオフ

10分間押釦スイッチの操作がないと電源が自動的にOFFになります。
（バッテリーインジケータのLEDは消灯）

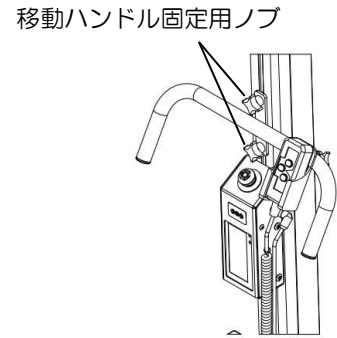
復帰は押釦スイッチの『上昇』『下降』『A』のいずれかを押すと復帰します。
（バッテリーインジケータのLEDは点灯）

6-6 シャットダウン

非常停止スイッチを『OFF→ON』後、4秒以内に操作スイッチの『上昇』を6回連続で押した後『下降』を6回連続押すとシャットダウンされ電源がOFFになります。

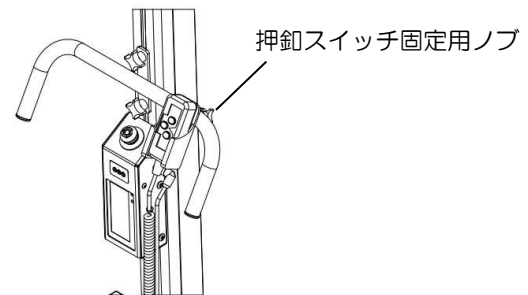
6-7 移動ハンドル高さ調整

移動ハンドル固定用ノブをゆるめると移動ハンドルの高さを調整することが可能です。調整後は確実に固定してください。



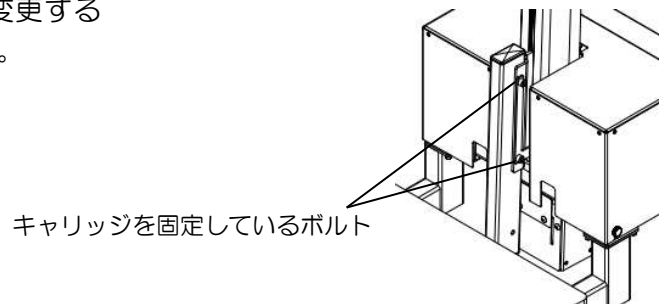
6-8 押釦スイッチ位置調整

押釦スイッチ固定用ノブをゆるめると押釦スイッチの位置を調整することが可能です。調整後は確実に固定してください。



6-9 テーブル高さ変更について

キャリッジを固定しているボルトの位置を変更することで荷受部の高さを変えることができます。変更後は確実に固定してください。

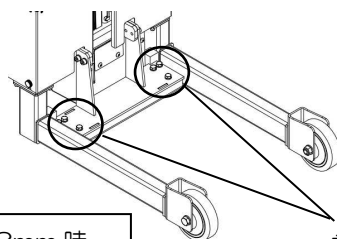


6-10 前輪アーム幅変更について (SFL20、SFL20Hのみ)

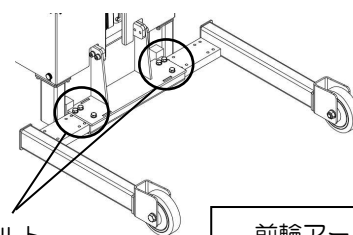
前輪アームを固定しているボルトを外して前輪アームの取付位置を変更することによって前輪アームの内幅を変更することができます。(アーム内幅 328mm、530mm、600mm の3段階) 変更後は前輪アーム固定ボルトを確実に固定してください。(締付トルク 12N・m)

⚠ 注意

左右均等に幅を変更してください。本体が不安定になり転倒につながる可能性があります。



前輪アーム固定ボルト



前輪アーム内幅 600mm 時

7. 改造について

7-1 多点停止・自己保持機能

《機能説明》

- 多点停止機能：上昇／下降動作時にそれぞれで登録された位置で停止します。
- 自己保持機能：上昇／下降動作が保持され、継続されます。
- 自己保持動作中は、押釦スイッチの「上昇」「下降」「A」および「非常停止スイッチ」のいずれかを押すと停止します。



スイッチ名	操作	動作内容
多点停止機能スイッチ	ON	多点停止機能動作
	OFF	通常
自己保持機能スイッチ	ON	自己保持機能動作
	OFF	通常

● 多点停止登録点数と上限位置について

登録位置は上昇停止位置・下降停止位置に関係なく、登録された位置を1点とし、合計15点登録が可能です。

- (例) 300mm 位置にて上昇停止・下降停止を登録した場合は1点
400mm 位置にて上昇停止のみ登録した場合は1点
50mm 位置にて下降停止のみ登録した場合は1点

左記の例だと、合計3点登録したことになります

⚠ 注意

- * 上昇停止位置が登録されていない場合、上限が最高上昇停止位置となります。
- * 上昇停止位置が登録されている場合、登録されている最高上昇停止位置が上限となります。
- * 最高停止位置での下降停止は不可です。

● 多点停止位置設定モード(登録/削除) 説明

- ① 多点停止位置設定モードの入り方 (位置設定モード中・・・黄LED点滅)
多点停止機能スイッチをONに切り替え 非常停止スイッチを押し A ボタンを約5秒間長押しします。
→位置設定モードに入り黄LEDが点滅し準備OK→LEDが点滅したら非常停止スイッチを解除

⚠ 注意

- * 位置設定モード中は高速のみの昇降が可能となります。
- * 多点停止/自己保持は機能動作可能

② 上昇・下降ボタンを押し、登録/削除したい位置まで昇降させて下記の設定を行ってください。

- | | |
|-------------------------------------|--|
| <u>上昇停止位置登録</u> | 多点停止機能スイッチを ON に切り替え、A ボタンと上昇ボタンを同時押し
(登録完了-黄・緑 LED が5秒間点灯)
(登録 NG-黄 LED が点灯・緑 LED が5回点滅) |
| <u>下降停止位置登録</u> | 多点停止機能スイッチを ON に切り替え、A ボタンと下降ボタンを同時押し
(登録完了-黄・赤 LED が5秒間点灯)
(登録 NG-黄 LED が点灯、赤 LED が5回点滅) |
| <u>上昇停止位置削除</u> | 多点停止機能スイッチを ON に切り替え、非常停止スイッチを押し A ボタンと上昇ボタンを同時押し
(削除完了-黄 LED が点灯、緑 LED が3回フラッシュを5回繰り返す)
(削除 NG-黄 LED が点灯、緑 LED が9回点滅) |
| <u>下降停止位置削除</u> | 多点停止機能スイッチを ON に切り替え、非常停止スイッチを押し、A ボタンと下降ボタンを同時押し
(削除完了-黄 LED が点灯、赤 LED が3回フラッシュを5回繰り返す)
(削除 NG-黄 LED が点灯、赤 LED が9回点滅) |
| <u>全登録位置削除</u> | 多点停止機能スイッチを ON に切り替え、非常停止スイッチを押し、A ボタンを5回連続押し
(削除完了-黄 LED が点灯、赤・緑 LED が同時に3回フラッシュを5回繰り返す) |
| <u>※同じ位置で上昇・下降とも停止させたい場合</u> | 上記「上昇停止位置登録」と「下降停止位置登録」を続けて行ってください。
(それぞれの登録完了また登録 NG の LED 点灯/点滅は上記と同じです)
※上昇、下降の登録の順番はどちらが先でも構いません。 |

③ 設定後は多点停止位置設定モードを解除します。

多点停止機能スイッチが ON の状態で非常停止スイッチを押し、A ボタンを約5秒間長押しします。
→位置設定モードが解除となり、黄 LED が消灯します。
非常停止スイッチを解除し、正常運転に戻します。

● 多点停止の停止点登録時の注意点

停止点登録時に下記に当てはまらない登録を行った場合、NG となり登録できません。

※上昇停止

- 登録位置が原点から最小移動距離以上であること
- 登録位置より上、または下に上昇停止点登録がある場合は、最小移動距離以上であること
- 登録位置より下に下降停止点登録がある場合は、最小移動距離以上であること
- 停止点はすでに上昇停止点として登録済みでないこと
- 登録済み停止点合計が 15 点以下であること

※下降停止

- 登録位置が原点から最小移動距離以上であること
- 登録位置が上限までの最小移動距離以上であること
- 登録地点より上に上昇停止点登録がある場合は、最小移動距離以上であること
- 上昇停止点が 1 箇所以上登録がある場合は、登録最高地点以下であること
- 停止点は既に下降停止点として登録済みでないこと
- 登録済み停止点合計が 15 点以下であること

※最小移動距離

- 上昇、下降共に約 4mm

● 多点停止の停止点削除時の注意点

停止点削除時に下記に当てはまらない削除を行った場合、NG となり削除できません。

※上昇

- 現在位置が上昇停止点、または上昇/下降停止点の最小移動距離以内として認識できること。
- 最高高さの上昇停止点を削除する場合で上昇停止点が 2 点以上あるときは、その下に下降停止点登録がないこと
- 上昇停止点が 1 箇所以上あるときは、停止点の最上位が下降停止点であってはならない
- 上下に認識可能（最小移動距離以内）な上昇停止点がある場合は、現在位置に近い方の上昇停止点を削除する

※下降

- 現在位置が上昇停止点、または上昇/下降停止点の最小移動距離以内として認識できること
- 上下に認識可能（最小移動距離以内）な下降停止点がある場合は、現時位置に近い方の下降停止点を削除する

8. バッテリーについて

8-1 バッテリーインジケータ表示

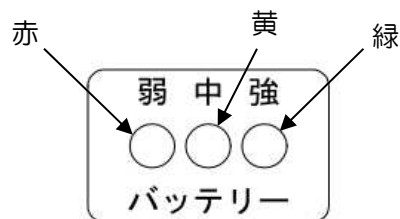
3色のLEDを使用してバッテリーの充電状態を表示しています。(緑色、黄色、赤色)

【緑色】・・・・・・緑色点灯時：充電は良好です。

【黄色】・・・・・・黄色点灯時：充電は不十分です。充電を行うようにしてください。

【赤色】・・・・・・赤色点灯時：充電不足です。すぐに充電を行うようにしてください。

【赤色点滅】・・・・赤色点滅時：操作することができません。すぐに充電を行うようにしてください。



8-2 充電方法

- ① 本機を AC100V 電源近くに移動させてください。
- ② 充電器に電源ケーブルプラグを差し込んでください。
- ③ AC100V コンセントに電源ケーブルコンセントを差し込んでください。
- ④ 赤色 LED (電源ランプ) 点灯、緑色 LED (充電ランプ) 点滅で充電中となります。
- ⑤ 緑色 LED (充電ランプ) 点灯になったら充電完了です。

※充電時間は SFL10,10S,10H で約3時間、SFL20,20H で約5時間です。

※充電器の特性上、充電完了後に緑色 LED (充電ランプ) が速い点滅になることがあります。充電完了と同じ状態です。



充電ケーブルプラグ差込口

⚠ 注意

- * バッテリーの寿命は環境や使用方法によって大きく変わります。バッテリーを長持ちさせるためには、バッテリーインジケータが赤色点灯する前に (黄色点灯のうちに) 充電を行うようにしてください。
- * 充電中に昇降操作をしないでください。不慮の事故が発生し、本体に不具合が生じる可能性があります。

⚠ 注意

バッテリーと充電器は必ず純正品をご使用ください。
純正品以外のものを使用されますと、最悪の場合爆発することがあります。

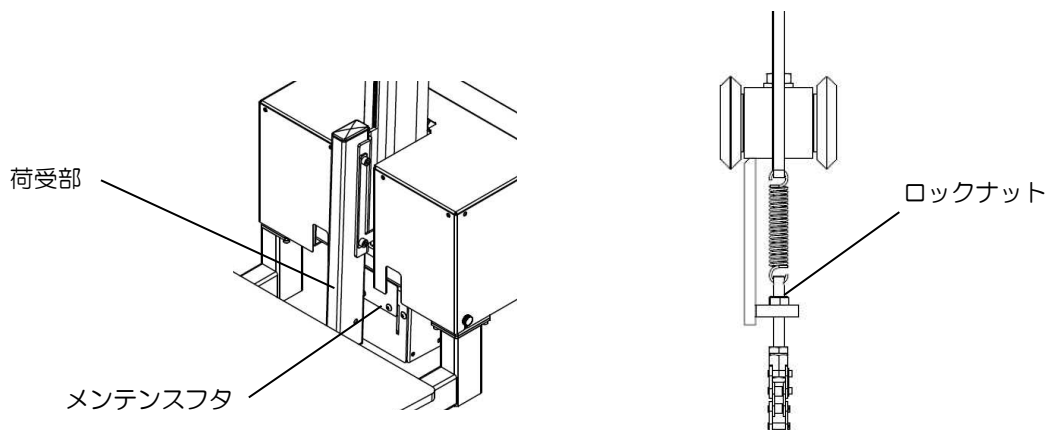
- 過充電、急速充電の禁止
- 深放電禁止
- 充電時は火気厳禁
- 充電器を分解しないでください

9. 定期点検

安全にご使用いただくために必ず定期点検を実施してください。

- (1) チェーンに錆、キズ、キンクなどはないか。(1 ヶ月毎)
- (2) ポスト内部のローラー摺動部・チェーンブラケット部・チェーンのグリスアップ (1 ヶ月毎)
- (3) チェーン張力の確認 (6 ヶ月毎)

チェーンの伸びにより音が発生する場合がありますのでゆるんでいたらロックナットを2回転増し締めしてください。ロックナットはテーブル最下位にし、テーブルとメンテナンスフタを外して調整してください。



10. エラー内容説明

本機はエラー監視を行っています。

エラーが発生すると、昇降動作を直ちに停止してエラーコードを表示します。

エラー状態により一部を除きスイッチ操作は受け付けなくなります。

エラーコードと内容を次頁のエラー表より確認して『オートパワーオフ』または『シャットダウン』してから対処してください。



原因を取り除いた後に電源再投入し使用可能となります。

● LED 点滅によるエラーコード確認方法

バッテリーインジケータLED の【赤】を点灯したまま【黄】と【緑】の点滅パターンでエラーコードを表現しています。

約 1 秒の消灯後、点滅パターン開始を表示する短い点滅が 1 回あり、続けて長い点滅と短い点滅の組み合わせで 5 回点滅します。

このように 1 サイクル計 6 回の点滅があり、エラーが解除されるまで繰り返し表示されます。

	長い点滅
	短い点滅

《エラーコード表》

エラーコード	1 開始点減(短)	2	3	4	5	6	可能昇降操作	内容	対処方法
1	■	■	■	■	■	■	▽	電池低電圧	バッテリーを充電する。
2	■	■	■	■	■	■	△	下降時の過電流検出	テーブルの下に入り込んだ異物を取り除く。 10mm 上昇させると自動復帰します。
3	■	■	■	■	■	■	▽	過負荷検出 (soft)	過重を減らして定格過重範囲内にする。
4	■	■	■	■	■	■	×	過回転検出	
5	■	■	■	■	■	■	×	下限LSが上昇中にON	
6	■	■	■	■	■	■	×	下限LSが下限でONしない、位置ズレ	
7	■	■	■	■	■	■	×	昇降タイムアウト	
8	■	■	■	■	■	■	×	モータトリップ (Hard)	その状況をお買上げ頂いた販売会社にご連絡ください。
9	■	■	■	■	■	■	×	エンコーダ異常	
10	■	■	■	■	■	■	▽	ブレーキ異常 (ずり下がり)	
11	■	■	■	■	■	■	△ ▽	過電流設定されていない	
12	■	■	■	■	■	■	△ ▽	加速度センサ異常	
13	■	■	■	■	■	■	△ ▽	上昇中に傾いた	水平な状態で使用してください。 検出されなくなると自動復帰します。
14	■	■	■	■	■	■	△ ▽	下降中に傾いた	
15	■	■	■	■	■	■	△ ▽	停止中に傾いた	
16	■	■	■	■	■	■	×	昇降中に移動検出	停止状態で昇降してください。 検出されなくなると自動復帰します。
17	■	■	■	■	■	■	×	昇降中に電源遮断	
18	■	■	■	■	■	■	×	電源電圧が33V以上になった	
19	■	■	■	■	■	■	×	DIP-SW とのモデル設定不整合	その状況をお買上げ頂いた販売会社にご連絡ください。
20	■	■	■	■	■	■	×	データフラッシュ異常	
21	■	■	■	■	■	■	×	データフラッシュ寿命到達	

エラー発生時に主に危険を除去する目的で解除しなくても『微速 (高速の 1/4)』で昇降操作出来る場合があります。

×=操作不可、△=上昇のみ可能、▽=下降のみ可能、△▽=上昇・下降が可能

エラーコード 2、13、14、15、16 は検出されなくなると自動解除されます。再起動させる必要はありません。

1 1 故障と対策

ここではエラー項目に無く、ご使用される皆さまが手がけることのできる比較的やさしい故障の修理方法を述べています。その他の故障や不審な点がありましたら、お買上げいただいた販売会社までご連絡ください。

故障状況	故障原因	対処方法
電源が入らない	バッテリーケーブルが外れている	バッテリーケーブルを接続する
	バッテリーの充電不足	バッテリーを充電もしくは交換
	操作スイッチケーブルの抜け・断線	操作スイッチケーブルの接続もしくは交換
昇降しない	操作スイッチケーブルの抜け・断線	操作スイッチケーブルの接続もしくは交換
バッテリーが充電できない	電源ケーブルが抜けている	ケーブルをしっかりと充電器と電源に差し込む
	充電器が故障している	充電器交換

1 2. 廃棄

本製品の廃棄については鉄鋼材・非鉄材・樹脂材・作動油・バッテリーに分別してください。バッテリーについては個々に廃棄せず、バッテリー販売業者など専門の業者に引き取ってもらってください。作動油の処理方法については法令で義務付けられています。法令に従い適正に処理してください。ご不明な場合は販売会社へ相談のうえ処理してください。

1 3. 商品保証規定

保証規定

取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書に従って正常な使用状態で保証期間内（納入後3ヶ月以内）に故障した場合は、弊社の責任において無償にて欠陥商品の手直し、修理、取替え、交換部品の送付をさせていただきます。但し、二次的に発生する損失の保証および、次の場合に該当する故障は保証しかねます。

- (1) 使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠ったために発生した故障および損傷。
- (2) 商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更（改造）を加え、それが原因で発生した故障および損傷。
- (3) 消耗品が損傷し取替えを要する場合。
- (4) 火災、地震、風水害、その他天災地変等、外部に要因がある故障および損傷。
- (5) 指定された純正部品を使用されなかったことに起因する場合。
- (6) 日本国外で使用される場合。
- (7) 保証請求手続きが不備の場合。（例：型式および機体番号の連絡が無い場合 etc.）
- (8) 設置に原因がある故障および損傷。
- (9) 弊社販売店または弊社以外で行われた修理。
- (10) 酷使、過失または事故によって生じたと認められる故障。

なお、本製品およびその付属品に使用されているゴム部品等のあらゆる自然損耗する部品、ならびに消耗部品については保証の適用は除外させていただきます。

本製品は耐水仕様になっておりませんので、錆、腐食、漏電等の水による故障は保証致しておりません。

保証請求方法

上記規定に基づき本製品の保証請求を行いたい場合は、お買上げいただいた販売会社へご連絡ください。販売会社において必要な手続きを実施いたします。

なお、保証の可否は大変勝手ながら弊社において判定させていただきますのでご了承ください。

14. アフターサービスについて

調子が悪い時	まずこの取扱説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
それでも調子が悪い時	商品保証規定に従い修理いたしますので、お買い上げいただいた販売会社へ修理を依頼してください。
保証期間内の修理について	保証期間は納入後3ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理いたします。
保証期間後の修理について	お買い上げいただいた販売会社へご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
補修用性能部品の保有期間	本製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後10年間です。 (性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です)

アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点は、お買い上げいただいた販売会社へお問い合わせください。お問い合わせいただく際には、次のことをお知らせください。

型式・機体番号・購入年月日・故障状況（できるだけ詳しく）

上記事項を下表に記録しておく、お問い合わせの際に便利です。

型式		
機体番号	No.	
購入年月日	年 月 日	
購入店名	社名：	担当者：
	住所：	電話：
設置業者	社名：	担当者：
	住所：	電話：
故障日・状況	年 月 日 状況：	



販売会社、または施工業者の方への**お願い**
この取扱説明書は、必ずお客様にお渡ししてください。



<http://bishamon.co.jp> E-mail:sales@bishamon.co.jp

〒444-1394 本社 愛知県高浜市本郷町4丁目3番地21 tel.0566-53-1126 fax.0566-53-1844

〒146-0083 東京 東京都大田区千鳥2丁目2番12号 tel.03-3759-9722 fax.03-3759-9723

〒537-0002 大阪 大阪府大阪市東成区深江南2丁目3番22号 tel.06-6747-7617 fax.06-6747-7618

その他営業拠点 仙台・前橋・広島・福岡

OM-SFL10,20 2308@1703-S